

責任投資原則

国連環境計画・金融イニシアチブおよび国連グローバル・コンパクトとのパートナーシップによる投資家イニシアチブ

「PRIは、署名機関の国際的なネットワークと協力し、6つの責任投資原則を実施しています。PRIは、環境、社会、ガバナンス課題と投資の関係を理解し、署名機関がこれらの課題を投資の意思決定や株主としての行動に組み込む際に支援を提供することを目的としています。」

国連事務総長からのメッセージ

持続可能な発展は世界の優先課題です。国連事務総長として、持続可能性は最優先事項であり、その実現に当たり、投資家は欠くことのできないパートナーです。

最近まで、投資家や金融市場に持続可能性問題が及ぼす影響はほとんど理解されておらず、大部分が看過されていました。国連が支持する責任投資原則（PRI）は、環境、社会、ガバナンス（ESG）課題と金融業界の關係に光をあて、安定的で持続可能な金融システム構築に寄与するフレームワークを世界の投資業界に対し提供することで、これまでの看過をあらためることに貢献しています。

ESG要因を投資判断や株主としての行動に組み込むことで、リスクを軽減し、投資収益を増やし受益者と顧客の期待に応えようとする機関投資家の数は世界中で増えています。機関投資家は、これらの取り組みを更に改善するために、企業や政策立案者などの市場参加者にも直接働きかけを行っています。こういった機関投資家の活動を通じ、環境および社会全体に、目に見える利益がもたらされます。

責任投資原則は、国連グローバルコンパクトを補完するものであり、企業が、人権や労働基準、環境、腐敗といった一連の普遍的な原則を経営方針や戦略に組み込むよう呼びかけています。さらに本原則は、国連環境計画・金融イニシアティブの延長線上にあり、資本市場が環境や社会課題の重要性に鋭敏に対応するよう促進しています。これらのイニシアチブは、望ましい未来を達成する上で重要な役割を果たしています。

私は、責任投資原則の署名機関になることを約束した各機関のリーダーシップに賞賛を送ります。今こそ、責任投資原則を実行に移すときです。責任投資原則の実行は、署名機関の責任であり、機会でもあります。引き続き、本取り組みに更なる機関投資家が参加することを強く望んでいます。



潘基文
国連事務総長

責任投資原則の導入

PRIと6つの原則について

PRIは、署名機関による国際的ネットワークと協力し、責任投資原則の6つの原則を実践に移すこと目的としています。PRIは、環境・社会・ガバナンス（ESG）課題の投資への影響を理解し、署名機関がESG要因を投資及び所有者の意思決定に組み込むための支援を提供しています。

6つの原則は投資家によって策定され、国連から支持を受けています。署名機関は、50ヶ国超から1,400機関以上が集まり、その合計資産は59兆米ドルに相当します。

PRIのミッション

私たちの信念と熱意

経済効率性が高く、持続可能なグローバル金融システムは、長期的な価値を創出する上で不可欠です。このようなシステムは、長期にわたる責任ある投資に報いて、環境と社会全体に利益をもたらします。

PRIは、次の方法で、持続可能なグローバル金融システムの達成を目指しています。1) 6つの原則の採択と実施のための協力促進、2) 優れたガバナンス、論理観、説明責任の強化、並びに、3) 市場習慣や市場構造、規制内における持続可能な金融システムに対する障害の除去。

6つの原則

署名機関のコミットメント

私たち機関投資家には、受益者のために長期的視点に立ち最大限の利益を最大限追求する義務があります。この受託者の役割において、（ある程度の会社間、業種間、地域間、資産クラス間、そして時代毎の違いはあるものの）環境、社会、企業ガバナンス（ESG）課題が投資ポートフォリオのパフォーマンスに影響する可能性があると考えます。また、これら6つの原則を適用することにより、投資家がより広範な社会の目的を達成できるであろうことも認識しています。

したがって、受託者責任と一致することを条件に、私たちは以下にコミットします。

- 1 私たちは投資分析と意思決定のプロセスにESG課題を組み込みます。
- 2 私たちは活動的な所有者となり、所有方針と所有習慣にESG問題を組入れます。
- 3 私たちは、投資対象の企業に対してESG課題についての適切な開示を求めます。
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

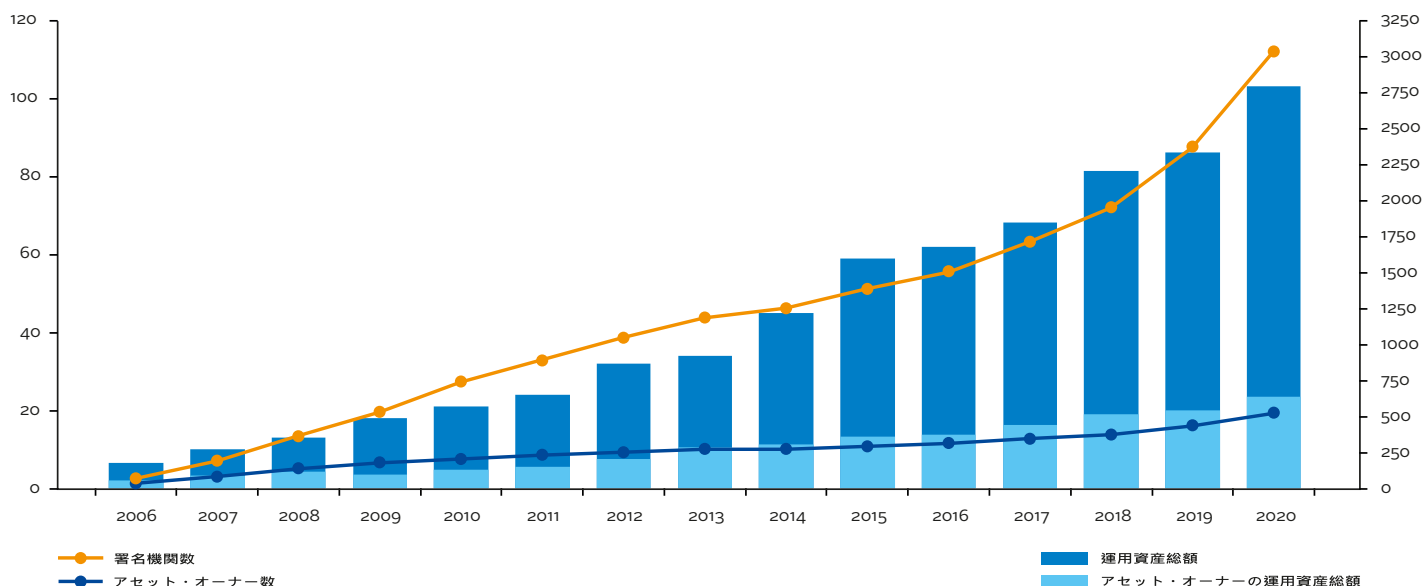
責任投資原則は、環境、社会、コーポレートガバナンスの課題が投資実務に及ぼす影響の拡大を受けて、国際的な機関投資家の集まりによって策定されました。本プロセスは、国連事務総長が機関投資家を招聘したことから始まりました。

本原則に署名するにあたり、受託者責任に反しない範囲で、私たちは投資家として本原則を採用し実行することを正式に約束します。また、その効果を評価し、将来的に本原則の内容を改善していきます。私たちは、本原則が、受益者へのコミットメントを果たす能力を向上させるとともに、運用活動と広範な社会的利益とがより整合性のとれたものとなることを確信しています

私たちは、未署名機関に対し本原則を採用するよう奨励します。

責任投資に対する関心の高まり

PRIは2006年の発足以来、一貫して成長してきました。



責任投資に対する関心が高まりを見せている理由は次の通りです。

- 金融においてESG課題が重要であるとの認識。
- これらの課題を組み込むことが、顧客と受益者に対する投資家の受託者責任の一部であるとの理解。
- 企業の業績、投資収益、市場行動に短期主義が及ぼす影響に対する懸念。
- 投資家が行使する権利と所有者としての責任に対する公共政策の要請
- 責任投資を通じて差別化を図る競合他社からの圧力
- 投資家、顧客、受益者の倫理的動機。

「AXAは、グローバルな長期投資家としてステークホルダーの最大限の利益を考慮する義務を負っており、ポートフォリオにおけるESG課題関連リスクや機会を理解しています。これらの要因は、時間とともに投資ポートフォリオに影響を与える可能性があり、延いては、リスクとリターンに影響が及ぶと考えます。しかし、有意義な変化をもたらすためには、一丸となって行動することが求められます。だからこそ、私たちは国連が支持する責任投資原則に署名することに誇りを感じています。」

AXA、CEO兼会長
アンリー・ドゥ・カストリース

6つの責任投資原則の実施

本原則は、自発的で意欲的な署名機関に対し、以下のようなESG課題を取り込むための実施事例を提示します。

1 私たちは投資分析と意思決定プロセスにESG課題を組み込みます。

参考実施例：

- 投資政策方針にESG課題を盛り込む。
- ESGに関連するツール、メトリクス、分析手法の開発を支援する。
- ESG課題を組み込むための社内投資マネージャーの能力を評価する。
- ESG課題を組み込むための社外投資マネージャーの能力を評価する。
- (金融アナリスト、コンサルタント、ブローカー、調査会社、格付け企業等の)投資サービスプロバイダーに対し、ESG要因の研究や調査分析に組み込むように依頼する。
- 本テーマにかかる学術研究やその他の研究を促す。
- 投資専門家のためのESG研修を奨励する。

2 私たちは、活動的な所有者になり、所有方針と所有慣習にESG問題を組み入れます

参考実施例：

- 本原則に一致する積極的な所有方針を策定し、公開する。
- 議決権の行使、または(外部委託の場合)議決権行使の方針にかかるコンプライアンスを監視する。
- (直接的、または外部委託のいずれかによる)エンゲージメント能力を開発する。
- (株主権の促進及び保護等にかかる)政策、規制、基準策定に参画する。
- 長期のESG課題に合致する株主決議内容を記録する。
- ESG課題について企業と協働する。
- 協働エンゲージメント・イニシアチブに参画する。
- ESG関連のエンゲージメントに参加し、報告するよう投資マネージャーに依頼する。

3 私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な開示を求めます。

参考実施例：

- (GRIガイドラインなどのツールを使用し)ESG課題に関する報告方法を標準化するように求める。
- ESG課題を年次会計報告書に組み込むことを求める。
- 関連する規範、基準、国際規範または国連グローバルコンパクトのような国際的イニシアチブの実践・遵守にかかる情報開示を企業に対し要求する。
- ESG情報の開示を促進する株主イニシアチブおよび決議を支持する。

4 私たちは、資産運用業界において、本原則が受け入れられ、実行に移されるよう働きかけを行います。

参考実施例：

- 提案依頼書(RFPs)に本原則に関連する要件を含める。
- 運用マニフェスト、モニタリング手順、パフォーマンス指数、インセンティブ体系を適切に整合させる(例：投資運用プロセスが長期投資の視点を反映するように確保する)。
- 投資サービスプロバイダーにESG課題に関連する希望を伝える。
- ESG関連の希望内容に対応できないサービスプロバイダーとの関係を再考する。
- ESG課題の統合をベンチマークに従って評価するためのツールの開発を支援する。
- 本原則の実施を可能にする規制や政策整備を支援する。

5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協働します。

参考実施例：

- ネットワークや情報プラットフォームへの支援や参画を通じ、ツールやリソースを共有し、投資報告を学習資料として活用できるようにする。
- 関連する新たな課題に共同で取り組む。
- 該当する共同イニシアチブを策定、または支援する。

6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します。

参考実施例：

- どのようにESG課題が投資実務に組み込まれているかを開示する。
- 活動的な所有者としての活動(議決権行使、エンゲージメント、および/または政策対話)を開示する。
- 本原則に関して、サービスプロバイダーから何が求められるかを開示する。
- ESG課題と本原則について受益者とコミュニケーションを取る。
- 「順守または説明」のアプローチを活用し、本原則に関する進捗、および/または、成果について報告する。
- 本原則のインパクトを評価する。
- 報告を活用し、より幅広いステークホルダー間における意識を高める。

「これらの原則は、価値あるプラットフォームとして、責任投資への取組みの確立、焦点の統一、社内意識の向上、投資パートナーやポートフォリオ企業のマネジメントチーム、その他ステークホルダーのための共通言語や一連の期待値の設定を可能とします。本コミットメントを共有する他組織と交流し学ぶことに、私たちは価値を見出します。」

コールバーグ・クラビス・ロバート共同会長兼共同創設者
ジョージ・R＝ロバート

PRIと投資家の協働

投資ポートフォリオへのESG要因の組み込み

TEAM	アウトプット
インプレメンテーション・サポート・チームは、投資家が各アセットクラスにおいて、6つの原則を体系的に実践するために役立つ支援ツール（ガイド、ケーススタディやイベント等）を提供しています。	- ダウンロードされた報告書は4万3,000件以上 2014年のインプレメンテーション・サポートイベントに500人以上が参加 - 実施支援用のニュースレターに1,200社以上がサインアップ
インベスター・エンゲージメント・チームは、投資家が、企業や政策立案者とESG課題についてエンゲージメントを図れるよう、PRI独自のクリアリングハウス等を用い、知識やリソースを集積・共有する支援を提供しています。	500の署名機関が参加 600件のエンゲージメントが進行中 1,700社のターゲット企業

より広範な投資展望のインパクト

TEAM	アウトプット
政策チームは、署名機関や政策策定者、規制機関等と協働し、責任投資への規制上の障害を特定・対処するための支援を提供しています。	- 受託者義務 - 長期主義 - 規制の有効性
アカデミック・リサーチ・チームは、出版物やイベントを通じ、責任投資に関する最新の学術研究を投資家に共有します。	2000名以上の投資家と学者のネットワーク - 研究論文を翻訳・抽出し「RI Quarterly」にて投資家に研究結果を提示 - アカデミック・カンファレンス出席者の90%より、肯定的なフィードバック

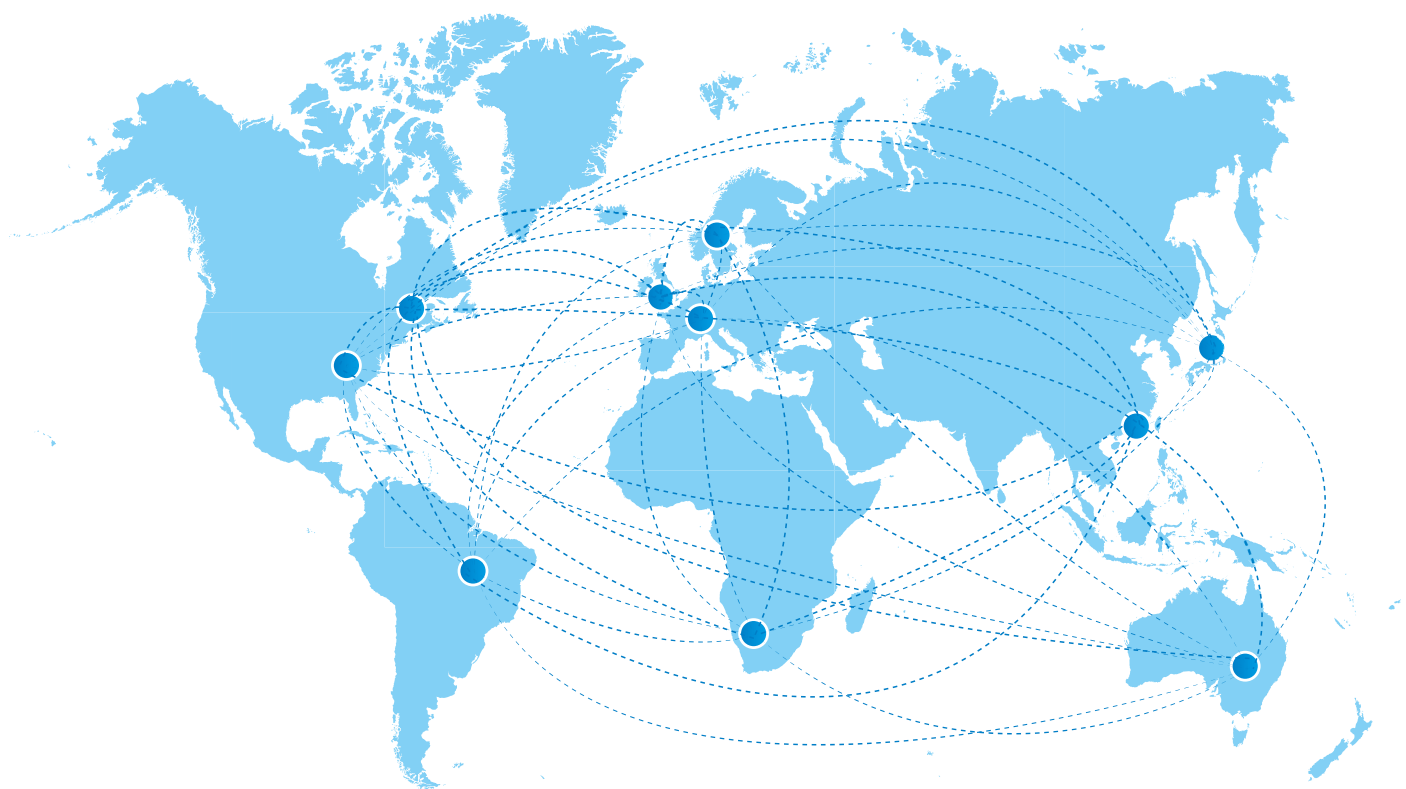
より広範な投資展望のインパクト

TEAM	アウトプット
レポート＆アセスメント・チームは、PRI及び署名機関の説明責任を確保します。PRIの年次進捗報告書では、署名機関の活動全般を紹介し、活動内容に対する分析結果と、実用的なケーススタディを提示しています。 各署名機関に対しては以下の二種類の報告書が発行されます。 透明性レポート：各署名機関によるESG要因取り込みに関する活動を、ステークホルダー及び社会に対し提示するための公開報告書。 評価報告書：前年比での進捗評価、また、他署名機関との比較が記載された非公表の評価報告書。	900以上の署名機関による報告（2014/2015年） 10万回以上の透明性報告書ダウンロード（2013/14年） - パブリック・コンサルテーションに投資家250名、パイロット・レポートでは360名、初年度に報告800件以上

国際的な支援

PRIは、各国市場の固有の課題に対処するために、地域別のネットワークを通じて署名機関を支援します。PRIのネットワークは、署名機関が地元企業と協働し、自国の規制課題に取り組めるよう促進します。さらに、地域イベントを企画し、PRIのリソースを現地市場向けにカスタマイズします。

各地域専属のPRIネットワークマネージャーが、署名機関とPRIの緊密な関係を構築しています。



- 北米
- 南米
- 英国とアイルランド
- 北欧
- 欧州大陸諸国
- アフリカ
- 日本
- オーストラリア、ニュージーランド

「PRIは、当社の責任投資活動を体系化させるための優れた枠組や、他には無いネットワークを提供してくれます。弊社は、PRIを責任投資のグローバルスタンダードとみなし、外部の運用会社にも参加するよう勧めています。」

ニールス・エリック・ピーターセン
ユニベンション社CIO

「PRI IN PERSON」

PRI in Person

開始以来、「PRI in Person」は多くの人をつなげました。

240+件以上のセッション

660+人以上の講演者

3500+人以上の出席者

2013年 | アプリ革命

ケープタウンにおいて、PRIイベントアプリが導入されました。本アプリは、ユーザー間のネットワーキングを可能として、また、ユーザーは、カンファレンスの最新情報のチェックやそれに対するコメントができます。



「PRI in Person」は、責任投資における業界唯一の真にグローバルな会議です。本会議は、PRI署名機関や投資専門家が数日間にわたり、学び、ネットワーキングを行い、協働するためのプラットフォームとなっています。出席者は、世界中から集まる同業他社と、責任投資にかかる時事課題を検討し、各地域や組織での経験を共有することができます。2007年にジュネーブで「PRI in Person」が初めて開催されて以来、2,500人以上の参加者が同会議に出席しました。

2015年には、9月8日から10日の日程で「PRI in Person」が英国ロンドンのExCeLにて開催されます。これまでで最大規模の「PRI in Person」の最新情報については、www.unpri.org をご覧ください。

また、2016年の「PRI in Person」は、9月5日から9日の日程でシンガポールにおいて行われることが決定いたしました。

「PRI in Person」のスポンサーには、世界中から参加する投資家と交流するための広範な機会が提供されます。スポンサーシップにかかる詳細は、PRIのウェブサイトをご参照ください。



PRIアカデミー

PRI ACADEMY

ESGトレーニングのゴールドスタンダード

PRIアカデミーは、ESG課題が企業のパフォーマンスや株主価値、投資判断に及ぼす影響について学ぶための、CFA認証オンライントレーニングを提供しています。

コースは、国際的な専門家からのインプット、実際のケーススタディや仮説に基づくケーススタディ、財務モデリングといった内容から構成されています。全てのコースがオンライン受講となっています。

「PRIアカデミーは、コースとして非常によくまとまっており、当社の投資枠組みにどのようにESG課題を組み込むことができるかをより深く理解できるようになります。」

ソブリン (ニュージーランド)

コース

PRIアカデミーは次の3コースを提供しています。

RI ファンダメンタルズ

「責任投資ファンダメンタルズ」は2時間のトレーニングコースで、責任投資への基本的な理解を深めたいと考えるあらゆるビジネス分野の方向けとなっています。このコースでは責任投資のビジネス事例を用い、従来の投資アプローチに対し新たなアイデアを紹介します。

RI エssenシャルズ

「責任投資エッセンシャルズ」は、投資の意思決定プロセスにおけるESG要因の特定と採用に重点を置いた12~14時間のコースです。実際のケーススタディを用いながらビジネスにおけるESG課題の重要性を説明し、ESGリスクに対する新しいアプローチを特定・管理し、サステナビリティ・データを財務モデリングに組み込む方法を紹介します。

上級財務分析

「上級財務分析」は、6~8時間の上級コースです。本コースでは、投資ファンダメンタル分析と株式価値分析におけるサステナビリティデータの活用方法を学びます。本分析によって、サステナビリティパフォーマンスや、主要バリュドライバー、財務結果全体に関連するESG課題を特定します。

「PRIアカデミーはESGトレーニングのゴールドスタンダードであり、市場でもユニークな存在です。」

コロニアル・ファースト・ステート・グローバル・アセット・マネジメント (オーストラリア)



本トレーニングはオンライン受講となっており、インターネットへのアクセスさえあれば、好きな時間に、好きな場所で受講できます。そのため、移動もプレッシャーもなく、さらには、温室効果ガスの排出もおさえることができます。

各PRIアカデミーのコース有効期間は登録から1年間となっています。体系化された学習プログラム、進捗モニタリング、アセスメントは、オンライン学習プラットフォームを通じてPRIアカデミーのサポートチームが管理しています。

PRIアカデミーのコースにご参加いただくための要件等は設けていませんが、「上級財務分析コース」をご検討されている方には、トレーニングを最大限にご活用頂くために、財務分析および責任投資のご経験を有していることが望まれます。

登録方法

- 弊社ウェブサイトよりご登録ください (www.priacademy.org)。
- グループ登録については、Eメール (priacademy@unpri.org) にてご連絡ください。

国連パートナー

国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI)

UNEP FI は、国連環境計画 (UNEP) と世界の金融セクターの固有のパートナーシップです。UNEP FIの「持続可能な発展」宣言に署名した200社以上の金融機関や幅広いパートナー組織と協力し、サステナビリティと財務パフォーマンスの関係性の発展と促進に努めています。UNEP FI は、金融機関のさまざまな事業レベルに導入できる環境とサステナビリティのためのベストプラクティスの調査、促進、実現という目的のもと、同業種間のネットワーク、調査、トレーニングを提供しています。

詳細についてはウェブサイト (www.unepfi.org)
をご覧ください。



UN グローバルコンパクト

2000年に発足した国連グローバル・コンパクトは、サステナビリティと責任ある企業行動に賛同する企業のため、方針プラットフォームと実務的枠組みの両方を提供しています。複数のステークホルダーが主導するイニシアティブとして、人権、労働、環境、腐敗防止に関わる国際的な10の原則に企業の活動と戦略を一致させること、およびこれに関連する国連のより大きな目標を支援することを目指しています。国連グローバル・コンパクトは、135か国の7,000社が署名している、企業によるサステナビリティのための世界最大の自発的なイニシアティブです。

詳細についてはウェブサイト (www.unglobalcompact.org)
をご覧ください。



連絡先

PRI Association
5th Floor, 25 Camperdown Street,
London E1 8DZ, United Kingdom
T: +44 (0)20 3714 3220

PRI Association (Hong Kong) Limited
Room 3, 11/F, 244 – 248 Des Voeux
Road Central, Sheung Wan, Hong Kong
T: +852 3897 9699

PRI US, Inc.
45 Rockefeller Plaza, Suite 2000,
New York, NY 10111
T: +212 332 3437

PRI Association France SARL
44-46 Rue de la Bienfaisance,
75008 Paris, France
T: +33 (0)1 87 16 40 34

www.unpri.org | info@unpri.org